

専門性生かした設計



オリジナル設計
水インフラ本部 コンサルティング一部
エンジニアリング課

坂本 和磨さん

■水への想い

自然豊かな長野県で生まれ育ち、日常の中には、いつも水が身近にありました。

特に諏訪湖を物心つく前から毎日見ていたことや、もともと「自然が好き」という気持ちが強くあつたので、綺麗な自然を残したい思いが大学で水環境を学ぶきっかけとなり、専門性を生かせる水関連の仕事に就職する決め手となりました。

中でも、水コンサルタントは、イメージを設計で伝える仕事です。技術力や知識量などを駆使してお客さま目線で検討し提案を行います。お互いが納得いくアイデアへと導き、水環境の改善に寄与できることが魅力だと思っています。

■設計を通じて

得た気づき

私が担当している下水道管の実設計業務は、実際に工事に取りかかるための設計図面を詳細に作り込んでいく仕事になります。

今、下水道の世界では施設の老朽化への対応が関心事となっており、下水道管の改築・更新を手掛ける機会が増えていきます。「現有施設の機能を生かしつつ、支障なく工事を進めるためにはどうすれば良いか」「現場環境や条件を加味すればこの方法は最適か」「工事資材の数量や工期設定は妥当か」等、一つひとつ突き詰める正確性が求められます。手戻りがない最善の一手を提案することこそ、私たちコンサル

腕の見せ所ですね。実際に工事が円滑に進

んでいるのを見ると、純粹にうれしさを感じます

し、現場が長野県だった時は、地元之恩を返せているような気がするのですが、モチベーションも上がります。

■欲しいところに

手が届く制度

私生活と仕事のバランスは大切にしています。結

婚し、共働きで子育てをしているので、家族とは少しでも多くの時間を一緒に過ごしたいと思っていました。当社は、社員が働きやすい環境構築を常に意識し、望まれる制度を先に見通して整備しているのです。私もワークライフバランスを充実させた働き方ができています。

現に、育児休暇や有給休暇を適切なタイミングで取得できるので、子育てを中心とした働き方で、在宅勤務も上手に活用するなどして、家族との時間を増やしています。

また、おだやかな社風が仕事面やコミュニケーションでも良い距離感を感じさせてくれるので、私が長く働く理由にもなっています。

仕事で取り組んだ実績は技術力として自分の武器になります。皆さんの専門性をぜひ当社で発揮してみませんか。

